議会だより
中土佐町
No.48
平成30年2月4日発行

12月定例会
第3回臨時会

町民の皆さま　4年間ありがとうございました

■議会広報アンケート結果 …… 2
■任期最後の一般質問 …… 9

今回の主な内容

■議会広報アンケート結果 …… 2
■平成29年12月定例会・第3回臨時会
議案審議 …… 7
一般質問 …… 9
委員会活動報告 …… 14
行政報告 …… 14
主な議案と議員の賛否 …… 15
■議員の活動状況 …… 16

議会広報アンケート結果

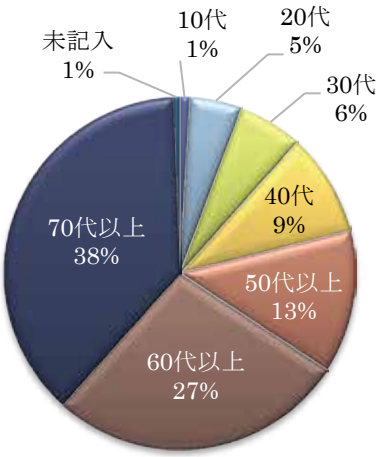
昨年9月に実施したアンケート調査の結果をご報告します。
調査は、町民（18歳以上）の皆さまの中から1000人を抽出し、336人の方からご回答をいただきました。
ご協力ありがとうございました。この結果を今後の広報活動などの参考にしたいと考えています。

※各質問に対する回答を単純に集計していますので100％にならない部分があります。

アンケートに回答していただいた方の状況

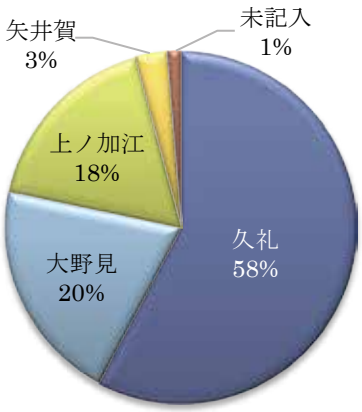
年代別は

10代	1%	（ 3人）
20代	5%	（ 16人）
30代	6%	（ 20人）
40代	9%	（ 32人）
50代	13%	（ 44人）
60代	27%	（ 92人）
70代以上	38%	（127人）
未記入	1%	（ 2人）



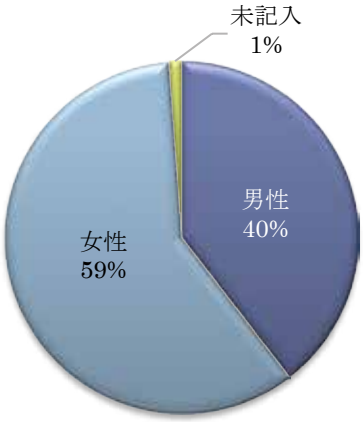
地区別は

久礼	58%	（194人）
大野見	20%	（ 69人）
上ノ加江	18%	（ 59人）
矢井賀	3%	（ 10人）
未記入	1%	（ 4人）



性別は

男性	40%	（133人）
女性	59%	（199人）
未記入	1%	（ 4人）



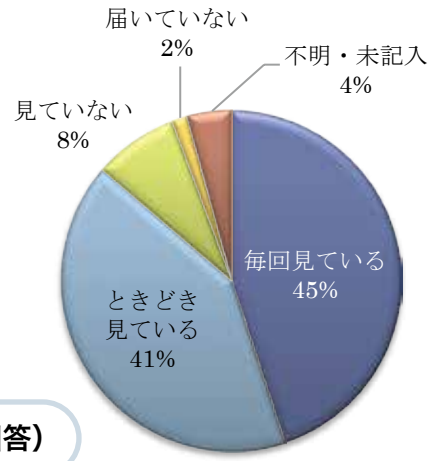
76%が議会情報は「議会だより」から

1 町議会の審議内容や議会活動は、主に何で知りますか。（複数回答）

①	議会だより	76%（255人）
②	行政広報紙	15%（ 50人）
③	家族・知人	8%（ 27人）
④	議員発行の議会報	7%（ 24人）
⑤	町のホームページ	4%（ 13人）
⑥	その他	17%（ 57人）
⑦	不明・未記入	5%（ 17人）

2 「議会だより」を見ていますか。

①	毎回見ている	45%（151人）
②	ときどき見ている	41%（139人）
③	見ていない	8%（ 27人）
④	届いていない	2%（ 5人）
⑤	不明・未記入	4%（ 14人）



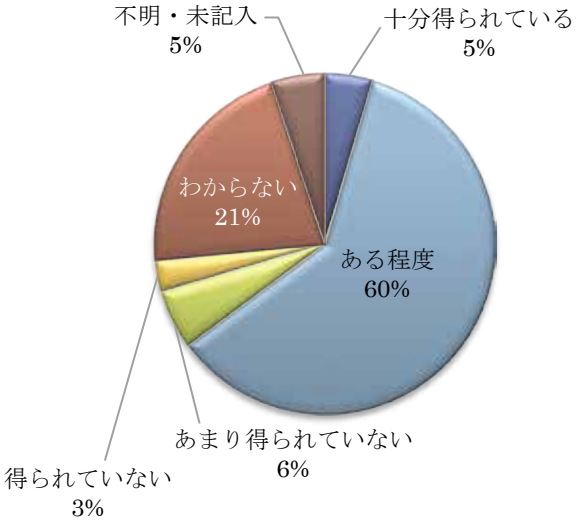
①②と答えた方は、どんな記事を読んでいますか。（複数回答）

①	一般質問	87%（243人）
②	定例会・臨時会の審議	34%（ 96人）
③	請願・陳情	21%（ 59人）
④	議員視察研修	20%（ 56人）
⑤	支持している議員関係	18%（ 49人）
⑥	委員会の審議	15%（ 42人）
⑦	意見書	15%（ 41人）
⑧	その他	4%（ 10人）
⑨	不明・未記入	6%（ 16人）

3 「議会だより」で、議会情報が十分得られていますか。

①	十分得られている	5%（ 15人）
②	ある程度	60%（203人）
③	あまり得られていない	6%（ 19人）
④	得られていない	3%（ 10人）
⑤	わからない	21%（ 72人）
⑥	不明・未記入	5%（ 17人）

分かりやすい説明を！



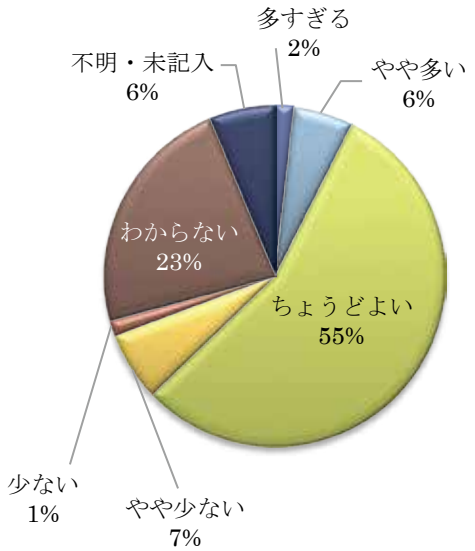
4 「議会だより」に望むことはありますか。（複数回答）

①	審議内容を詳しく	22%（ 75人）
②	町民の声を	43%（144人）
③	質問や答弁の追跡を	40%（133人）
④	議会内の多様な意見・争点を	26%（ 89人）
⑤	文章をわかりやすく	14%（ 47人）
⑥	議会の仕組みや運営を	14%（ 48人）
⑦	その他	6%（ 20人）
⑧	不明・未記入	14%（ 48人）

5 「議会だより」のページ数（現在 20 ページが基本）は、いかがですか。

「ちょうどよい」が約半数

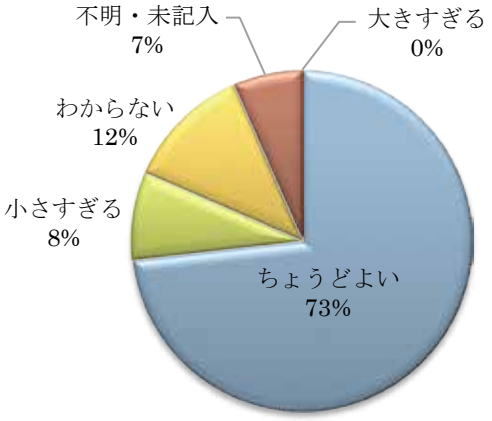
①	多すぎる	2%（ 6人）
②	やや多い	6%（ 19人）
③	ちょうどよい	55%（186人）
④	やや少ない	7%（ 22人）
⑤	少ない	1%（ 5人）
⑥	わからない	23%（ 77人）
⑦	不明・未記入	6%（ 21人）



6 「議会だより」の文字の大きさは、いかがですか。

大半が「ちょうどよい」
「小さすぎる」の声も

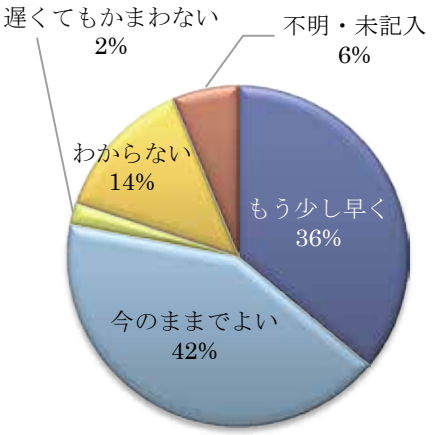
① 大きすぎる	0%（ 0人）
② ちょうどよい	73%（246人）
③ 小さすぎる	8%（ 28人）
④ わからない	12%（ 40人）
⑤ 不明・未記入	7%（ 22人）



7 「議会だより」の発行までの期間（定例会から約2カ月後）は、いかがですか。

「もう少し早く」と
「今のままでよい」が拮抗

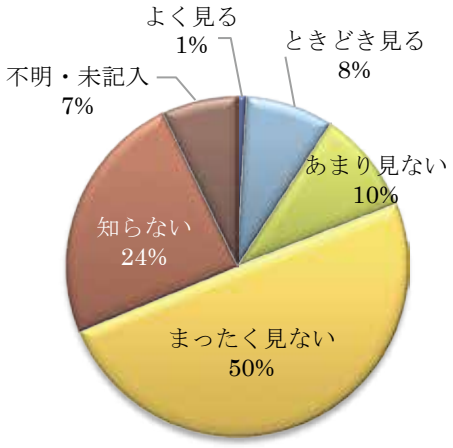
① もう少し早く	36%（121人）
② 今のままでよい	42%（141人）
③ 遅くてもかまわない	2%（ 7人）
④ わからない	14%（ 46人）
⑤ 不明・未記入	6%（ 21人）



8 「インターネット中継」は、ご覧になりますか。

見たことのある方は約２割
このうち70歳以上が33%

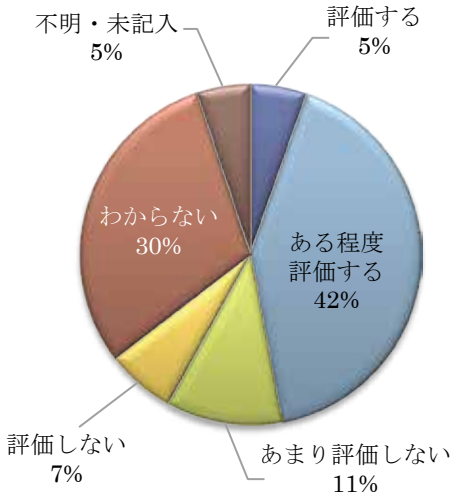
① よく見る	1%（ 3人）
② ときどき見る	8%（ 28人）
③ あまり見ない	10%（ 33人）
④ まったく見ない	50%（167人）
⑤ 知らない	24%（ 81人）
⑥ 不明・未記入	7%（ 24人）



9 今の議会をどのように評価していますか。

①	評価する	5%（ 18人）
②	ある程度評価する	42%（140人）
③	あまり評価しない	11%（ 37人）
④	評価しない	7%（ 22人）
⑤	わからない	30%（102人）
⑥	不明・未記入	5%（ 17人）

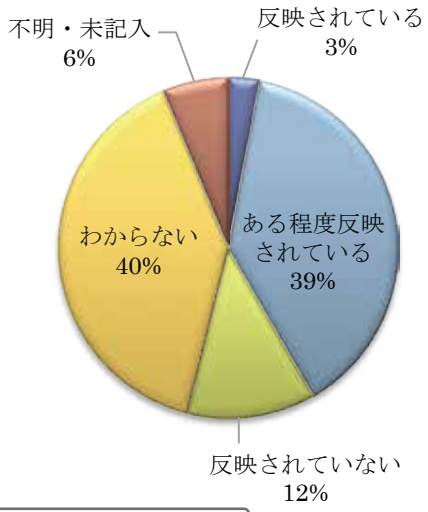
地域を回って、町民との関わりを！



10 町議会に町民の声が反映されていると思いますか。

①	反映されている	3%（ 10人）
②	ある程度反映されている	39%（130人）
③	反映されていない	12%（ 41人）
④	わからない	40%（134人）
⑤	不明・未記入	6%（ 21人）

ご回答いただいたアンケート用紙



いただいたご意見は、次号以降で紹介していきたいと思います。

スマホ・パソコンで議会を

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。生中継だけでなく平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。

中土佐町のホームページから議会のページに進みご覧ください。

会議録を閲覧できます。

インターネット中継映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局でご覧いただけます。

傍聴規則を改正

帽子・コート等の着用が自由に

平成29年　中土佐町議会

12月定例会・第3回臨時会

議案審議

平成29年12月定例会が、12月8日から15日までの8日間の日程で行われました。

開会日の8日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

12日は一般質問（P9から関連記事）が行われ、4人の議員が町の課題について執行部の考えを問いました。

15日には議案の審議が行われ、町長提出の議案12件を可決、農業委員などの人事案件9件に同意。そして、9月定例会から継続審査となっていた平成28年度各会計の決算を認定しました。また、議会運営委員会から提出された「傍聴規則」の改正案を可決しました。

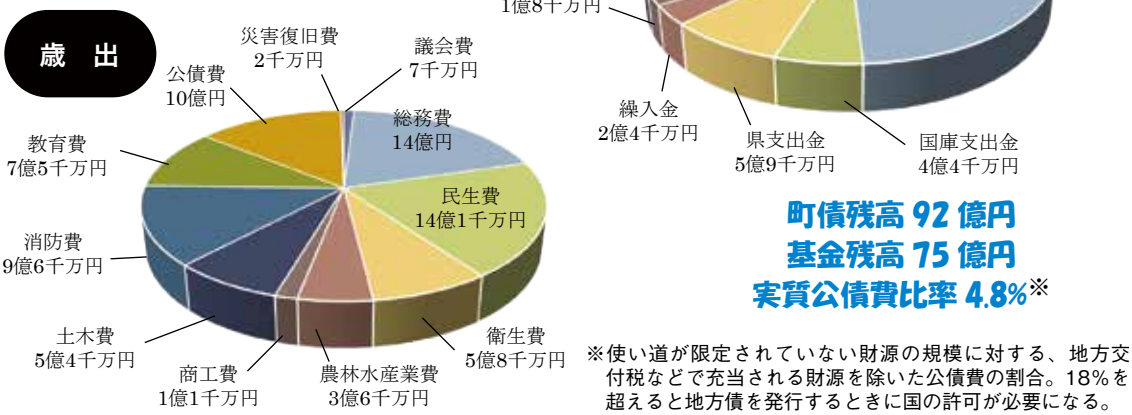
12月定例会に先立つ10月31日、第3回臨時会が行われ、町民の直接請求に基づき提出された二つの条例案を否決しました。

傍聴規則の全部改正

「中土佐町議会傍聴規則の全部を改正する規則」は、傍聴席への入場規定の見直しを行ったものである。しかし、録音・撮影等は、今までどおり禁止となる。また、携帯電話・パソコン等の電子機器類は、音を発する可能性があることから、電源を切ることとされた。（P8参照）

平成28年度決算を認定

一般会計
歳入総額76億円
歳出総額72億円



町債残高92億円
基金残高75億円
実質公債費比率4.8%※

※使い道が限定されていない財源の規模に対する、地方交付税などで充当される財源を除いた公債費の割合。18%を超えると地方債を発行するときに国の許可が必要になる。

直接請求に基づく条例案

第3回臨時会で、「町債発行限度額をまず決め適切な町債額を定める町民の審議会設置条例について」「町債発行一切停止し適切な町債額を定める町民の審議会設置条例について」の二つの条例案が、町民からの直接請求に基づき町長から提出された。

これは、町債（地方債＝借金）の発行額を抑えるため、その額を町民で審議すべきとして町民から請求されたものだ。

請求代表者の意見陳述の後、佐竹敏彦議員が反対討論を行った。

採決では、賛成者はおらず、2議案とも否決された。

直接請求（条例制定・改廃）
有権者の50分の1の連署をもって、その代表者から、地方公共団体の長に対し、条例制定・改廃を求めることができる制度。

傍聴規則の主な改正点

改正前

（傍聴席に入ることができない方）

・銃器、棒、その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
・張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、垂れ幕、かさの類を携帯している者
・鉢巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
・ラジオ、拡声器、無線機、マイク、録音機、写真機、映写機の類を携帯している者。
・笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
・下駄、木製サンダルの類を履いている者
・酒気を帯びていると認められる者
・異様な服装をしている者
・児童及び幼児
・その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる者

（傍聴人が守るべき事項）

・静粛を旨とすること。
・議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
・談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
・帽子、外とう、襟巻の類を着用しないこと。
・飲食又は喫煙をしないこと。
・みだりに席を離れないこと。
・不体裁な行為又は他人の迷惑となる行為をしないこと。
・その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

※写真・動画の撮影、録音等は従前のとおり、禁止となります。

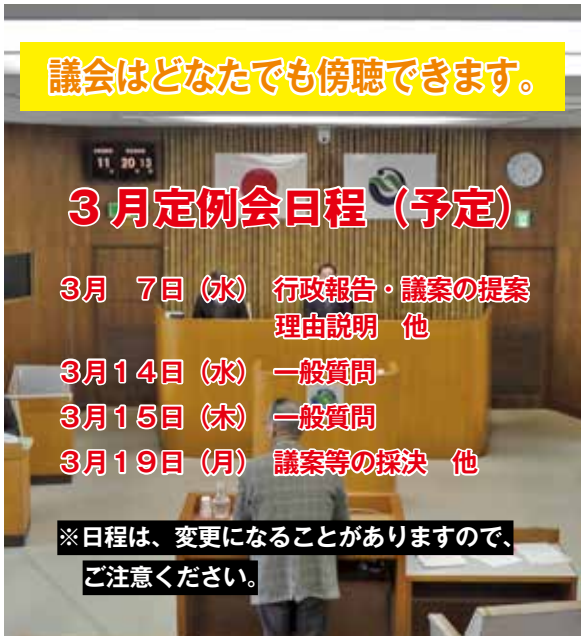
改正後

（傍聴席に入ることができない方）

・凶器その他危険なものをもっている者
・酒気を帯びていると認められる者
・議事を妨害又は他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者、若しくは、第三者に不快感を与えると議長が認める者

（傍聴人が守るべき事項）

・静粛にすること。
・議場における言論に対し拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
・鉢巻、腕章、たすきの類を着用し、又は張り紙、旗、垂れ幕の類を掲げる等示威的行為はしないこと。
・飲食又は喫煙はしないこと。
・みだりに席を離れないこと。
・不体裁な行為又は他人に迷惑となる行為はしないこと。
・携帯電話、タブレット、パソコン等電子機器類の電源は切ること。
・その他、議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為はしないこと。



一般質問
～所信を問う～

12月12日、任期最後となる一般質問が行われ、4人の議員が、総合振興計画や防災対策、財政運営など町の重要課題について、執行部の考えをただしました。

戸田　晴喜 ……P10
■源流の里での食事は
■要望の取り扱いは

下元　道夫 ……P11
■避難道路は大丈夫か
■鰹乃國水産の運営は

山中　英男 ……P12
■財政運営の重要度増すが
■国保県一化で保険料は

佐竹　敏彦 ……P13
■憲法改正への思いは
■戦没者追悼式での思いは

源流の里での食事は
1月に料理人が着任

問 源流の里は、掃除等をこまめにやり、バンガロー等、塗装している。また、15時から17時まで風呂を優先して入れるという看板もつくっている。そして、川にマス等を自前で入れて、秋に産卵をしていた。このことが情報提供されていない。
　行政で、できる範囲での情報提供は。
　課題として、地元等から食事ができないと声がある。何らかの対策が話し合われているのか。
　現在の問題点と今後の取り組みは。

槙本農林課長 11月末までに、延べ7579人が利用している。このうち外国人は117人だ。
　食事は、課題となっていた調理人が、1月から支配人として着任する。
　行政の啓発の支援は、新しい支配人が来られるので、今の段階から話を進めたい。

四万十源流の里と12月24日に開催されたクリスマス・ターキーイベント

要望の取り扱いは
説明責任は重要

問 住民から多々要望がある。返事がきちっとされているのか。
　全体の傾向を分析し、統計をとり、ルール化し、要望等は何件あって、どう処理したか、住民に発表するつもりは。

池田町長 行政の住民に対する説明責任は、非常に重要な部分だ。
　いろんな要望が日々寄せられており、それらを全て発表していくことは、検討の余地がある。
　ただ、できていない部分は、しっかりと対応したい。

「マルシェなかとさ」は

問 旧直販所と比べ出品者数が少ない。また、半径1～2㌔から来るお客さんが確保できておらず危険を感じる。具体策は。

下元企画課長 年間を通じて、「出せる」「出せない」ということもあるが、商品・出品者の確保に努める。（町民の来客が少ない点は）町内の方が出品した商品を町外含めて幅広く買ってもらいたいと考えている。

観光振興とブランド化は

問 総合振興計画は、行政の考え方の基本だ。この中で、観光協会など組織の整備や情報発信、その人材育成は。
　また、地域ブランドの形成は、何を育て上げるかという絞り込みと、それに対する行政が支援する覚悟がいるが。

下元企画課長 観光協会などの具体的な組織づくりには至っていない。
　情報発信などは、道の駅で行っている。
　人材育成・組織化は現在検討中。

池田町長 一朝一夕にブランド品が誕生することはない。これまで取り組んできたことをさらにグレードアップ・パワーアップしていくことが、町の全ての商品のブランド化というものにつながると思う。

地元客・出品者数が課題の道の駅の直販施設「マルシェなかとさ」

避難道路は大丈夫か
調査の検討を行う

問 地域防災計画の被害想定に液状化による被災がある。中島・末広町は、もとは田であった。2号避難タワー（八千代タワー）、久礼小学校に上がる避難路までの避難する道路等の耐震強度の調査が必要ではないか。

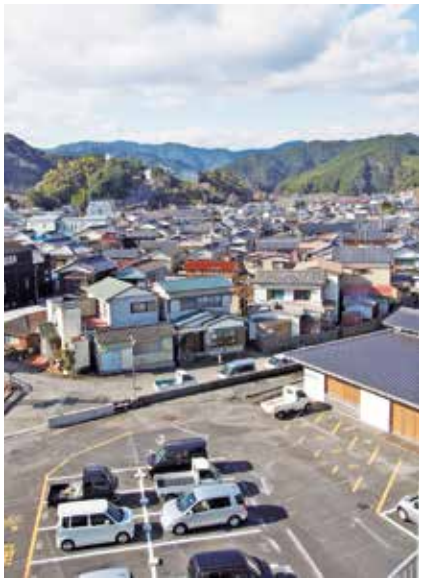
山田建設課長 県が公表している液状化可能性予想図では、久礼地区は液状化の可能性がないことになっている。このため、おおむね道路機能は確保できると想定している。

調査はしていないので、関係機関等から指導を受けながら、住民の不安を取り除くため、調査の検討をしたい。

問 避難をしていく道路沿いの家・ブロック塀が倒れると避難できない。耐震化をどう進めていくのか。また、各避難所の備蓄状況は。

平田総務課長 ブロック塀・老朽家屋の除却に対し、避難経路に当たる部分等を補助の対象としている。個人負担等もあるが、事業に取り組んでもらう啓発を行いたい。

備蓄は、基本的には個人で3日分はお願いをしたい。町としては、運搬できれば、それで賄うという想定をしている。本町の道路啓開日数等を考えると、最低3日分の備蓄は必要だ。


避難地までの経路にあたる道路の耐震化等が課題の市街地（八千代タワーより）

道路啓開
緊急車両の通行のため、がれき処理を行い、救援ルートを開けること。

鰹乃國水産の運営は
㈱SEAプロジェクトに

問 鰹乃國水産の運営が、㈱地域振興公社から㈱SEAプロジェクトになる。新しい体制に移行する目的、漁業者にとってのメリット、そして、漁業支援の拡充は。

池田町長 温泉宿泊施設である㈱地域振興公社と鰹乃國水産と全く形態が違う。このことによって、誤解が生じたり、職員同士の連帯感が希薄化しており、これを解消しなければならない。

体制が一元化することによって、（道の駅で）実際にスラリーアイスを見て、効能・有用性を知ってもらい、「カツオのたたき」のおいしさを全国に知らしめていけば、漁業振興にもつながる。

問 鰹乃國水産の現在の体制で、販売促進活動から加工をやるには限界があるのでは。

池田町長 現在の体制では十分な活動はできないと理解している。

情報発信機能を柱にしている「道の駅」の傘下にすることによって、鰹乃國水産が蓄積してきたノウハウを一気に開花できると考えている。

連携が不可欠な「鰹乃國水産（手前）と「道の駅なかとさ」（奥）

㈱地域振興公社
「黒潮本陣」の指定管理者。町が100％を出資。

㈱SEAプロジェクト
「道の駅なかとさ」の指定管理者。町が80％を出資。

道の駅の運営状況は

問 道の駅の売り上げ、入込客は。水産業、農業の出荷人数は。

下元企画課長 8月31日現在、全体の売上額は9500万円。レジ通過者は8万9000人。

農産物の出品者36人で310万円。水産物は13人で50万円となっている。

訂正とお詫び

前号（47号）7ページ下元議員の一般質問の記事に誤りがありました。訂正するとともにお詫び申し上げます。

（誤） 50万円
（正） 650万円

財政運営の重要度増すが有利起債活用で心配ない

問 総合振興計画の人口ビジョン目標と社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の人口推計との乖離が大きいが。絵に描いた餅になることはないか。

下元企画課長 社人研の数値は、将来の出生・死亡・転出など社会移動について推計している。これに対し、本町は、2060年時点の目標だ。

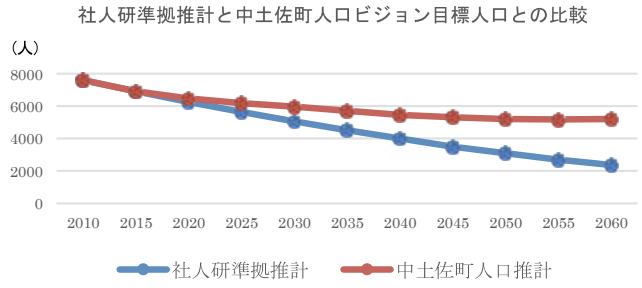
何もやらなければ、そのまま減少するということは認識している。目標人口の維持に向け、現在取り組みを進めている。

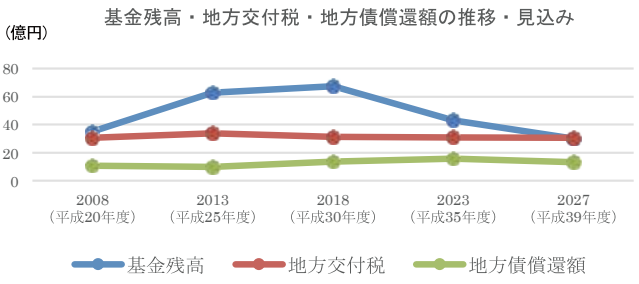
問 （人口減により）地方交付税は減少傾向になると思う。財政運営の重要度が増してくるが。

池田町長 町の借り入れたお金に対する財源措置がある。防災関連事業（の大部分）は、7割が地方交付税で返ってくる。後の3割も県が見てくれる。今後、さまざまな事業も出てくるが、7～8割が返ってくる有利な地方債を活用する。心配はないと思っている。

問 情報も含めて住民に知らせてはどうか。

平田総務課長 中期財政見通しは、ホームページで公開している。広報紙でも財政状況等を掲載するよう考えている。





国保県一化で保険料は高知県と協議中

問 国保の県一化で資産割がなくなる。（標準）保険料率は。

山本町民環境課長 現在、市町村は県と協議を続けているが、標準保険料率は、確定計数が1月ぐらいにずれ込む見込みだ。

国保の県一化
今まで国保（国民健康保険）は市町村が運営していたが、平成30年度から、都道府県とともに、運営を担うことになる。

井口税務課長 資産割を除く考え方は、所得水準が低いにもかかわらず資産割が賦課されるケースがある。このため、資産割をなくする必要があると判断した。

資産税は賦課される。

資産割
本町では国保税に、固定資産税の2分の1の額が資産割として加算されている。県一化で来年度から所得割・平等（世帯）割・均等割となる。

問 均等割の対象は何歳からか。子どもが含まれると少子化対策に逆行する。減免すべきでは。

井口税務課長 対象・年齢に下限はない。

池田町長 低所得者は、7割・5割・2割軽減措置もある。非常に困難な家庭には、ほかの対応をしたい。

円津（久礼地区）の頭首工は

問 洗掘され使用できない状況だ。下流にあった頭首工が護岸工事で撤去され、それから洗掘が始まったが。

池田町長 頭首工の復元は、農家のニーズは低いと聞いている。河川改修との因果関係は、私がどうこう言うことはできない。

しかし、頭首工に関わる護岸の洗掘は、田畑・住宅地に被害を及ぼす。県にも申し入れをしながら、工事を行っていくようにしなければならないと考えている。

洗掘で使用できなくなった国道56号大川橋の下にある円津の頭首工

憲法改正への思いは
考える良い時期では

問 10月の衆議院議員選挙で自公連立政権は、憲法改正発議に必要な3分の2以上の313議席を獲得した。参議院の合区解消を目指した憲法改正の声もある。
　中土佐町長として、疲弊・消滅化しつつある地方自治を再生・発展をさせていくためには、憲法をどう変更すべきと思われるか。所見は。

池田町長 すぐに改正をせよということではないが、今回の選挙結果を受け、いま一度原点に立ち返って、日本の国のあり方、その形というものを考える良き時期ではないかと思う。

戦没者追悼式での思いは
不戦の誓いを新たに

問 追悼式の対象となられる御霊（みたま）は、どの戦争に従事された方々か。また、戦死された方々の何に鎮魂の祈りを捧げるのかを聞く。

地区ごとに行われていた昭和62年当時の忠霊塔（久礼）での慰霊祭（上）と平成29年度戦没者追悼式（右）

池田町長 昭和27年に全国の戦没者追悼式が初めて行われた。その際に、政府として見解は太平洋戦争の殉職者となっている。
　ただし、合併前は、旧大野見村では、西南の役から大東亜戦争に至るまでの御霊に対する慰霊祭を、遺族会主催で行っていた。
　戦禍に散華（さんげ）された皆さんに対する思い、そして、不戦の誓いを新たにする場と心得、その思いを込め式辞を述べている。

木質バイオマスの活用は

問 本町で行われた「全国木のまちサミット」で、需要拡大の一つに、木質バイオマスの提案があったが活用は。

池田町長 木材を建築資材として適正な価格で売る仕組みの構築が基本だ。少しでも有効利用するため、バイオマス発電等への利用が本来の姿ではないか。

> **木質バイオマス**
> 製材くず等を固めた「小さな薪」で、燃料として使える。石油より安価で二酸化炭素排出量が少ない。

移住対策は

問 移住受け入れ政策を推進しているが、（他県では）困った現象が起きているという事実も発表されている。町長の所見は。

池田町長 順法精神のもと、地域のコミュニティーに溶け込んでもらえるよう移住者に啓発したい。

大阪で開催された移住相談会（12月17日）

「高知ふるさと会」復活は

問 中土佐町出身で、高知市で暮らしている方で構成された「高知なかとさ会」があった。町長以下、幹部職員が出席していたが、運営が中断されている。復活し、交流を深めるようにしてはどうか。

池田町長 担当課にさまざまな業務があり、職員の時間確保が厳しく、考えていない。（現在、活動中の）「高知矢井賀会」には、長として私的に参加させていただきたい。

委員会活動報告

12月定例会の初日（12月8日）、教育民生常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

上ノ加江公民館建て替えへ

久礼小・上ノ加江公民館等を調査／教育民生常任委員会

9月28日・29日の2日間、「新教育委員会制度及び小中一貫教育」の調査のため、東京を会場にした「教育行政基礎講座」に参加した。

新教育委員会制度では、教育委員長と教育長を一体化した新教育長が首長により任命され、総合教育会議を新設し、教育大綱が首長の下に策定されることとなる。

「学校教育法等の一部を改正する法律」で義務教育学校が新たな学校の種類として設置が可能となった。小中連携という中に小中一貫教育があり、明確に定義づけした制度が義務教育学校だ。

背景には、教育基本法や学校教育法改正、教育内容の充実、子どもの発達の早期化、中一ギャップ、学校の社会性育成機能強化がある。

11月29日、上ノ加江公民館、エアコンが整備された久礼小学校の現地調査を行った。

新上ノ加江公民館は、隣接地購入で地権者と合意後、順次、実施計画策定に向けた取り組みを進める予定だ。

将来的に利活用されず、物置的に使用される部屋がないよう間取りを検討するよう要請した。

久礼小学校のエアコンは、普通教室、理科室、音楽室に合わせて14室に設置。夏は27度以上、冬は10度以下の場合に稼働させると報告があった。

なお、校舎視察中、和式トイレの洋式化、空き教室に保存されている民具の整理の要望があった。

久礼小学校でエアコンの設置状況を調査する教育民生常任委員

町内小中学校等の受賞相次ぐ

池田町長の行政報告

平成30年度予算編成方針

少子高齢化・人口減少問題や南海トラフ地震対策、地場産業の振興など、本町が直面している各分野における喫緊の課題について取り組みを進めたい。

公共施設移転等事業

各現場の進捗状況は、ほぼ計画どおりに工事が進められている。工事車両の走行や工事音の発生等に伴うご迷惑をお掛けする。皆さまのご理解とご協力を。

SEAプロジェクト

「道の駅なかとさ」は、目新しさが薄れてきたこれからが正念場となる。さまざまな形で町内外にPRすることで、町全体に波及効果が行き渡るよう努める。

南海トラフ地震対策

11月5日、「高知県一斉訓練」が行われ、町内全体でスタッフ等も含め2061人が参加した。自主防災組織や町民の皆さまの防災意識の高まりに感謝する。

「まんま食堂」

この活動は「こども食堂」を基本としたもので、11月9日、子どもと親、そして高齢者などが分け隔てなく利用できる食堂として初めて開催された。

教育研究発表会と小中学校等の受賞

11月に本町の小中学校を会場として、各教育研究発表会が開催され、参加した県内外の多くの教育関係者から、高い評価を受けた。

また町内小中学校等が、

- 「平成29年度高知県坂本教育賞」（大野見小学校）
- 「平成29年度教育実践論文、学校部門最優秀賞」（久礼中学校）
- 「第31回毎日カップ中学校体力つくりコンテスト優良校」（大野見中学校）
- 「第10回地産地消等給食メニューコンテスト・文部科学大臣賞」（学校給食センターの「中土佐元気たっぷりメニュー」）

を受賞した。

私は、賛成　反対　しました。

○・・賛成　●・・反対　欠・・欠席　／・・議長

≪第３回臨時会の主な議案と議員の賛否≫

審議した議案等 ＼ 議員名	岡伊三男	戸田晴喜	山中英男	山下世仁子	黒原昭一	中城重則	下元道夫	佐竹敏彦	福永守恭	松下裕之	本井康介	可否
町債発行限度額をまず決め適切な町債額を定める町民の審議会設置条例 ※直接請求によるもの	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	／	否決
町債発行一切停止し適切な町債額を定める町民の審議会設置条例 ※直接請求によるもの	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	／	否決
専決処分の承認を求めること （平成29年度一般会計補正予算（第３号））	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	／	承認

≪12月定例会の主な議案と議員の賛否≫

町道の路線の変更 ※同名の町道を区別するため、「矢井賀北谷線」「矢井賀川奥線」に変更するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町道の路線の認定及び一部廃止 ※「大股１号線」の一部と「池の谷支線」を認定し、「高樋・久原線」の一部を廃止するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
高知市及び中土佐町におけるれんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結 ※高知市と県内市町村による「れんけいこうち広域都市圏」を形成するため、本町と高知市の間で連携協約を締結するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
四万十市立保育所を中土佐町住民の使用に供させること ※入所申し込みに対応するため、四万十市と協議するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 ※人事院勧告に基づき増額改定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ※雇用保険法等の一部改正に基づくもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
奨学金基金条例 ※「中土佐町奨学金」と「坂本育英資金貸付基金」を一本化し、安定した運用を図るもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
奨学金条例の一部改正 ※専門学校を追加し、別制度との併用と返還期間の延長を可能とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
坂本育英資金貸付基金条例の廃止条例 ※奨学金基金条例の新規制定に伴う廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
一般会計補正予算（第４号） ※1948万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ70億3593万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
簡易水道事業会計補正予算（第２号） ※70万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億4960万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
介護保険特別会計補正予算（第３号） ※1,113万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億1313万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
教育委員会委員の任命（高橋容子さん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	同意
監査委員の選任（結城善晴さん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	同意
農業委員会委員の選任（山岡正治さん・政岡直文さん・濵岡健一さん・政岡妙さん・岩本隼夫さん・西岡英男さん・下元和惠さん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	同意
平成28年度各会計歳入歳出決算の認定 ※一般会計を含む７会計の決算の認定をするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	認定
議会傍聴規則の全部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決

A 私たちは、こんなことをしています。

≪各議員の出欠状況（平成29年10月１日～平成30年２月４日≫

日付・会議等	議員名	岡伊三男	戸田晴喜	山中英男	山下世仁子	黒原昭一	中城重則	下元道夫	佐竹敏彦	福永守恭	松下裕之	本井康介
10月 6日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／
10月13日	平成29年度議会広報研修（高知市／自治会館）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／
10月18日 19日	地方議員研究会（大阪府）	／	○	／	／	／	／	○	／	／	／	／
10月24日	トップセミナー（県民文化ホール）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	○	公
10月31日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	○
	第３回臨時会（中土佐庁舎）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 8日	第11回高幡町村議会議長会親睦体育大会（津野町）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 9日	決算認定連合審査（中土佐庁舎）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
11月14日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	○
11月25日	第７回議長杯パークゴルフ大会 （小草ふれあい公園パークゴルフ場）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
11月29日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎・町内）	○	／	●	／	／	○	／	○	／	○	／
12月 4日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	○
12月 8日	12月定例会（中土佐庁舎）〈１日目〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／
12月12日	12月定例会（中土佐庁舎）〈２日目〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月15日	〃　〈３日目〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席　●・・・欠席　△・・・一部欠席　公・・・他の公務による欠席　／・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

副議長と常任委員長が出席したトップセミナー。発表しているのは本町教育委員会の西森真由さん（県民文化ホール10月24日）

議会に対するご意見などを募集しています。

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

ご投稿先
〒789-1301
中土佐町久礼6602番地2
中土佐町役場議会事務局

Q 議員は何をしゆうが？

≪議長の主な活動状況（平成29年10月１日～平成30年２月４日≫

● 10 月

12日　第 58 回四国地区町村議長会研修会【副議長】（愛媛県／ひめぎんホール）
15日　第 12 回大野見しんまいフェスタ（JA 四万十大野見支所）

松下副議長が出席した第58回四国地区町村議長会研修会（松山市10月12日）

大野見しんまいフェスタでの餅つき（10月15日）

22日　平成 29 年度大阪高知県人会（大阪府／新阪急ホテル）
23日　四国横断自動車道高知県建設促進期成会四国地方整備局へ要望（香川県／サンポート合同庁舎）
24日　第 20 回全国農業担い手サミット in こうち（高知市／高知県立春野総合運動公園体育館）
同須崎地域交流会（須崎市／須崎プリンスホテル）

● 11 月

１日　高知県戦没者追悼式（県民文化ホール）
３日　上ノ加江地区民運動会（上ノ加江中学校）
４日　県選出国会議員と町村長・町村議会議長との意見交換会（高知市／自治会館）
６日　四国横断自動車道高知県建設促進期成会国土交通省･国会議員へ要望（東京都／国土交通省ほか）
10日　第69回関東高知県人大懇親会（東京都/東武ホテルレバント東京）
20日　地方地自法施行 70 周年記念式典及びシンポジウム（東京都／東京国際フォーラム）
21日　高幡町村議会議長会県外研修（茨城県）
県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会（東京都／赤坂エクセルホテル東急）
22日　第 61 回町村議会議長全国大会（東京都／ＮＨＫホール）

● 12 月

５日　津野山養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
高幡消防組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
18日　消防小型動力ポンプ付積載車入魂式（久礼八幡宮ほか）
22日　高幡西部養護老人ホーム組合議会【議長・議選組合議員】（文化館）

● 1 月

２日　成人式（町民交流会館）
14日　消防出初め式（久礼八幡宮）

天皇･皇后両陛下ご臨席のもと開催された地方自治法施行70周年記念式典のあとのシンポジウム（東京国際フォーラム11月20日）

高幡町村議会議長会研修で訪れた予科練平和記念館（茨城県阿見町11月21日）

NHKホールで開催された第61回町村議会議長全国大会（東京11月22日）

議長杯パークゴルフ大会で交流

11月25日（土）、第７回中土佐町議会議長杯パークゴルフ大会を小草ふれあい公園で開催。43人の参加者が親睦を深めました。

決勝は、奥堂初男さんと政岡建二さんによるプレーオフ（同点による優勝決定戦）が行われ、手に汗握る接戦でギャラリーを沸かせました。

優勝した奥堂初男さんのショット

本井議長から優勝トロフィーを受け取る奥堂初男さん

プレーオフで熱戦を繰り広げる奥堂初男さん（右）と政岡建二さん（左）

入賞者の皆さん おめでとうございます

優　勝	奥堂　初男さん（久礼）	104	当月賞（11位）	下元　聰彦さん（久礼）	112
準優勝	政岡　建二さん（上ノ加江）	104	当日賞（25位）	若瀬　求　さん（笹場）	130
３　位	戸田　和慧さん（矢井賀）	105	ブービー賞	山下世仁子議員（久礼）	161
			ホールインワン賞	吉岡　和　さん（大野見）	118
				本井　康介議長（久礼）	132
			最高齢参加賞	佐々木辰子さん（矢井賀）	133〈89歳〉

（しまんとコース・くろしおコース　2R　36 ホール）

つぶやき

平成26年2月の議員就任から、はや4年が過ぎようとしている。

この間、住民の思い、願いに立って議会活動ができただろうか。住民の生活や、生産現場の実態にどれだけ沿えることができただろうか。関わってきた「議会だより」。読者である住民の目線で編集ができたかどうか。今号の議会だよりの住民アンケートでも評価の一方、厳しい意見をたくさん頂いた。

さて、この4年の間に町はさらに過疎が進んだ。空き家が増え、高齢化が大きく進んでいる。耕作放棄地の拡大。港に行くと船は大きく減った。繋がれたまま操業していない船もかなり見かける。

久礼大正町市場は平成27年100歳を迎えた。そして、昨年7月には道の駅が新港に誕生した。

当初から運営費に1000万円の税金投入。町全体の地産外商を進めるべき職員を駅長に就任させた。中土佐ブランドに支えられて、オープン以来好調に人を迎えた。ただ、当初の目的であった水産業を始め、町の地場産業の底上げとなっているかどうか。

「どんな物をつくり、どこに販売していくか」ということが今あらためて大事なことになっている。今こそ民と官が一体となり、「できることから取り組むこと」の必要性を痛切する今日この頃である。

私も、地域でできることを続けたい。

議会広報常任委員長　下元　道夫

中土佐町議会広報常任委員会
委員長　下元　道夫
副委員長　山下世仁子
委　員　黒原　昭一
福永　守恭

発行／高知県中土佐町議会　発行人／議長　本井　康介　編集／議会広報常任委員会
〒789-1301　高知県高岡郡中土佐町久礼6602-2
電話（0889）52-2410（直通）　FAX（0889）52-4850（直通）